

ペーパーバック・ライター

ACT 01



Saenai heroine no
sodatekata
Utaha Kasumigaoka
●nly Fanbook Vol●

FOR ADULTS

P a p e r b a c k w r i t e r

■いんとろだくしょん■

原作12巻6章&エピローグ及びGS3内12.6.5章&12.7.5章
&エピローグなんてものはこの本の世界線には存在していません。
まったく。これっぽっちも存在していません。

大事なことなので二度言いました。

又7月10日!

大事にしてる
つもりもなかった
俺の童貞は

ある日の夜
あっさりと
終わりを告げた

彼女の膈内は
想像を絶する
気持ちよさで

俺の分身は
瞬く間に果て





ある意味
想像通りで

おみやげの対価
確かに頂いたわ♡

ある意味
斜め上すぎる
言葉がー



豚マンの対価に
童貞を差し出した
俺の脳内は

行為が終わった後の
賢者モードとは違う



そして彼女の
口からは

アレは夢だった
のだろうか

70点



へ？

一線を越えて
しまったことに
対する背徳感の
ような

憧れの女性と
したという
充足感のような
イロイロなモノが
渦巻いていた



事の発端はこうだ



だって倫理君たら

アしをあんなに膨らませてて

とてもおいしい…
…苦しそう
だったから

ん…ま

れろ

れろ

ん…ん

なんとか
しなきゃって

食べ物じゃ
ないです!



あら
食べ物の対価が
食べ物なのだから

ちゃんと等価交換
になってるわよ

しっ

俺が詩羽先輩に
夜這いをかけられ

童貞を強制卒業
させられ

失礼ね

ああもう…
それでいいです



ぬちゅっ



ですからこの話は
もう…おつ
でも

あなたはそれで
終わらせずに

げっ

コレを送ってきた

あつまた勝手に
独白に割り込んで!



あなたが送って
きたものよ♡

真・霞詩子ルート…

そう…
確かに書いた

もももも
わああ

あああ



彼女を励ます
つもりで書く
はずだった
詩羽シナリオ

それが…

煮詰まって
極限状態になり
今まで押さえ
込んでいた煩悩が

彼女との体験を
トリガーに暴走
した果てに生まれ
魔シナリオ…

しかもそれを
サイバーの
詩羽フォルダ

まだ消して
なかつたそれに

いつもの
クセで

あれが最初で最後
だろうと思っていた
ところだ

あああああ
あああああ

思いも
しなかつたわ

こんなものが
送られてくる
なんて…ね

…で
それはお読みだ？

ええ
しまくったわ♥

…ち…ちなみだ
しまくった…と…

マンズリに
決まってる
でしょう？♥

オナニーよ

ソウデスカ…60

倫理君が私だけに
向けたむき出しの
リビドーを

これでもかと
浴びせかけられて

この私が
発情しないわけが
ないじゃない♥





夜が明けてもなお
指が止まらなくて

何度も絶頂し



豆が赤剥けして

手がすっかり
ふやけてしまう
程度には

底なしだなあー！
なるほどー！
賢者モードだー！



てね
そんな体験の直後に
書いたプロットは
激しく引きずられて
しまっ

かああ〜

読んだあの女は
開〇一番

なんだよこの
官能小説みたいな
プロットは

エロゲーでも
作るつもりかよ

霞センス…あんだ
溜まってるのか?

もういい
その溜まった煩惱
どうにかしてこい

あのボンコツ
イラストレーターには
だまってやるから

その元凶に責任でも
取ってもらうんだな

—という願末が

…わかりました。
この週末は先輩の
犬でも性奴でも
ヒモでもなんでも
なります…うう

わかればいいのよ

せ…先輩…

じゃあこれ

?

なんですか
これ?

スイッチ
入れてみて

?

んんっ

これ…まさか

まさか…なに?

なにっ
…だから…

ふふふ
なんなら今
確認してみる…

一線を越えた
後だからか

詩羽先輩の行動は
直接的になって
躊躇がなくなった

…しません!

っっていうか
スカート
捲くらないでっ

そして…彼女が
提示する行為は

俺の煩惱が発露した
件のアレ(シナリオ)
に酷似している

…いるのだが

それよりモット
アブナイマルで
シフトしていて



別にいきなり
じゃないわ

う：詩羽先輩
いきなり...
せめて荷物を
置いてから



それが作家としての
対抗心なのか
ただの欲望の
発露なのか

わかるはずも
ないまま今も
こんな行為に...



さつきから
あなたのこころ
見苦しく
膨らんでいて

とてもとても
苦しそうだから

なんとかか
つて

違います

なぜかずっと
治まってくれな
...あうっ



じゃあ...この
弾けそうなの

楽しんで
あげるわね





倫理君の
おひんぼ♥

とへも…
かはいわ♥

味も…かじこわね

♡ご馳走♡

詩羽先輩…
直球すぎ

♡ふるっ♡



しっ…詩羽先輩

んんん

しごきながら
舌でこそがないて

♡しっ♡

…ぎっし





うん…これよ
倫理君の味♥

一度で刻みつけ
られる味ね♥

先輩…飲んで…?

車中でも感じて
いたけど



汗かいたから
お風呂にしましょう

さっきの
行為といい

この部屋…奥に
内風呂もあるのよ

この旅行が
そういう旅行
なのだと思われ

彼女の一挙手一投足は
露骨なまでに扇情的で



…くん

そしてその前では
俺の倫理ガードは
あまりにも脆く

…倫理君

決壊寸前で…



…もう覚悟が
決まっていると
思っていたのだけど

まだ倫理君が顔を
出してしまふのね



詩羽先輩…

なに？

いろいろ…と
当たってます

なにがかしら？

具体的に

せ…背中では
柔らかい中に
コリツとした
もの…とか

腰に…は
ジヨリジヨリと
した感触…とか

ああ…勃起乳首と
マン毛が当たって
いるのね♥



どうしてそっちを
向いてるのかしら？



直球だなあい！

…まあ…毛の濃い
女は劣情が深い
とも言っしね♥

それ劣は不よ
…あつ



…おかまいなく

そういえば
あなたの「煩惱」
シナリオには

こんな感じ
だったかしらね

注目を浴び全身へ
痛いほどに視線が
突き刺さる中

おもむろに右に腰掛け
大きく股を広げて
隠すものがない股間へと
男どもの視線を誘う

そこには密生した茂みの
中心…ヒクヒクと蠢く
醜くよじれた濃い
褐色の肉ピアがあり

視線を浴びヒリヒリと
焼け付くようなソレに
指をあてかい大きく
くつろげると

にちやあ、という音と
ともに淫液まみれの
桜色の粘膜が姿を見せ

俺のは混浴に入って
恥ずかしがるって
だけ…ううっ

そうだった
かしら？

あら…もう
イキそうなの？

早漏さんね

彼に命令された詩羽は
混浴とは名ばかりで
男風呂と化している
露天風呂にただ一人
裸体を晒していた

…そして彼女は
興奮に震える唇から

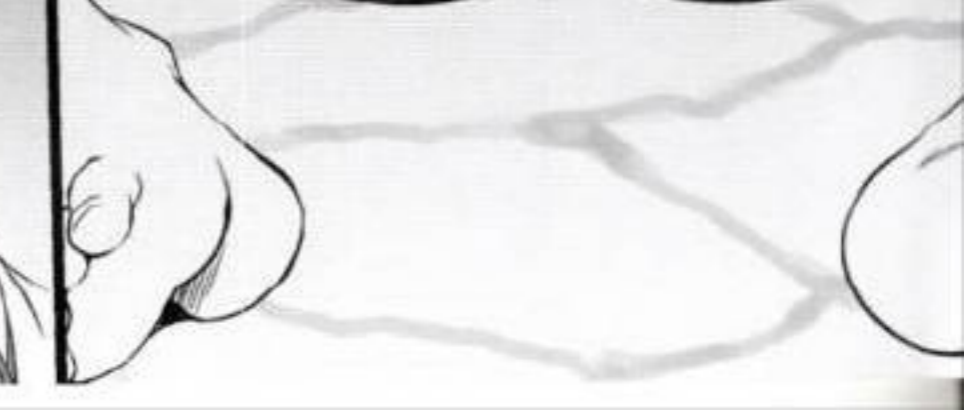
「今からメンズ浴を
始めますね♥」

「詩羽のおまんこを
…粘膜の隅々まで
ご覧…下…さい♥」

消え入るような声で

ちが…っ

あっ…いっ



混浴風呂の
シチュエーション
もあつたわね？

…そこ強調
しないで
ください…

えっと…確か

ちよっ…っ



もう上がりまじょうか

そのそのの食事だし



わざと寸止めして俺を焦らして挑発しているのか...

わざとだ...



湯船に射精って訳にも行かないでしょう？

たぬ...ふじむらじ

あ...あ...

せ...せん...あ...



風呂から出た後の品が多かっただけで、夕食は強壯系の品があまり覚えてなくて



ん...ん...

ぬた

ぬた

ぬた

ぬた

覚えているのは
昼間から収まらない股間と...その原因
彼女に対する
破綻しそうな
リビドー



詩羽先輩の
せいだろっ!

さつきからっ
俺をつ挑発してっ

その気にさせてっ!!

嬉しい…私のメスに
反応してくれたのね♡



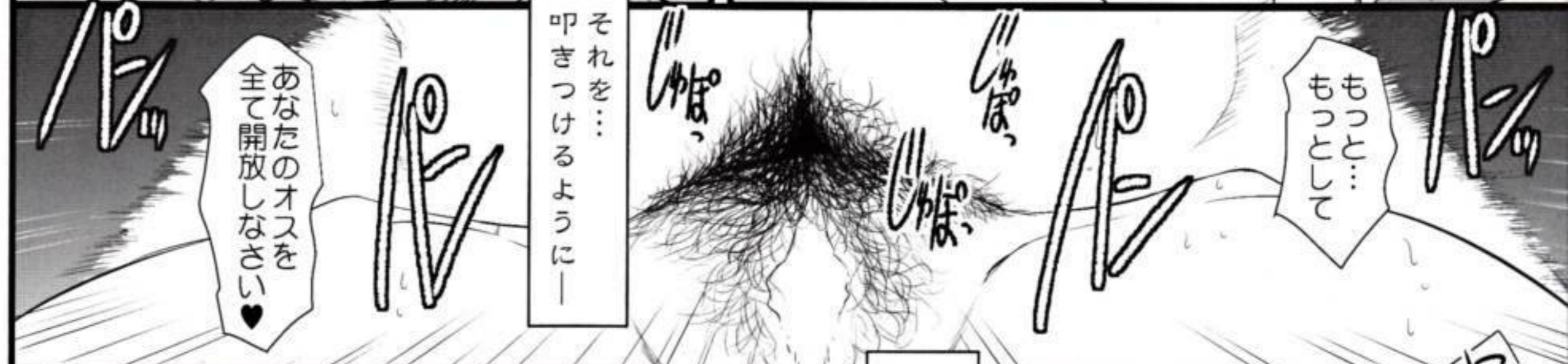
おちおち…いいわ♡
お嬢君

今のあなたの顔…

草食獣ではなく
肉食獣の…オスの
顔をしているわ♡

おちおち

おちおち



もっとうっ
もっとうっ

それを…
叩きつけるように—

あなたのオスを
全て開放しなさい♡



彼女へと…
吐き出した

おちおち…お嬢君♡

さつき無駄撃ち
しなかったから
こんなにたくさん♡

おちおち…
おちおち…?



ああ…倫理君の
モノがみつちりと
…ハマがつてる♡



これって…何せう

彼のこの硬さも
太さも記憶を
上回っている



いびえ…違う

前はもつと奥…
もつと深くまで
来ていた感覚だった

でも…届いてる
突き…当たってる



詩羽先輩の
中…熱い

倫理君♡

奥…コリツとした
のが当たってるの
…わかる？





心の底から
求める相手
このオスの種なら
孕んでもいいと
思える相手とだけ
したい体位ね♥

だいしゆき
ホールドって
言うんですって

詩羽先輩…

ふん…?

あつ

腰…これ?

知ってる…
…これ

この体位で
してくれる?

真っ先に断る
べき事なのに
普段の俺なら
絶対にしない
はずなのに

口は自然と

わかった

あんなに快感
つもらして

あなたの汁で
子宮を満たして
くれるかしら?

つもらじゃなく
今日は詩羽先輩を
孕ませるから

三ヶ月後を
楽しみにしてて

口より先に子宮と
おまんこが反応
しちゃったわ♥

どっ…
どうしよう



せつ...うあつ
なんだこれっ

せつ...先輩の中
今...もしかして

そっ...そうよ

皆まで
言わせないで

こんなに早く
彼にイキ顔
見せてしまっ
なんて...え

それより

これで終わりじゃ
ないんでしょう?

嬉しい...っ

彼の不意打ちが
嬉しすぎて

絶倫理君? ♡

が...がんばります

まじっ

倫理くん ♡

倫理くん ♡

倫理くん ♡



ポルチオ、
きんごころ、
くれえ、
くれい、

あだ... だま、
あだ、

かき回す、
かき回す、



熱い、
熱い、
熱い、

だてて射精、
射精が
止まらな、

出したがら
だめ、

ガク、
ガク、



先輩、

詩羽先、

先輩...?

倫り...くん、
詩羽先輩、

倫...くん、

あ、
あ、



まだ全然萎えない

しかし
どうなることやら
この

これじゃ本当に
絶倫だよ

俺がこんな
詩羽先輩を
引き出したんだ

初めて見た
詩羽先輩の
アクメ顔

あまあま

あま...

あま
あま

あま
あま
あま



ちんぽ…お
りんりくんの
おちんぽ♡



うっ

詩羽先輩…

さっきの体位で

詩羽先輩も完全に
発情スイッチが
入ってしまった
みたいで



もっとな…
もっとな♡

普段の理知的な
姿とは真逆で



もっとなもっとな
おまんこ♡

して…え
ハメてえ♡

盛りをついた
メスの本性
むぎ出しな

おねだりを
してくる



俺のちんぽに
巻き込まれて
出入りするの
丸見えます

詩羽先輩の
ピラピラが

いい眺めです

いつ
言わないって

あゝあゝ
深いいい
いゝゝゝ♡

あゝ

これっ
これもいゝゝ♡
違っゝゝゝ
当っゝゝゝゝ♡



だめよっ…これ
この…格好っ
とてもとても
恥ずかしいわ

あ…っ
来た…あゝ♡

おまんこがまた
あなたのオス汁で
溢れてしまっ…わ

んっ…ゝゝゝ♡



倫理君の力が
気持ちいい所に
強くこすれてっ

ねえ…倫理君

お風呂に
…行かない?



あつ...当たったっ
キスした...あつ♡



あま...あま

あま...あま
あま...あま
あま...あま



あま...あま
あま...あま
あま...あま

あま...あま
あま...あま
あま...あま

あま...あま
あま...あま
あま...あま



あま...あま
あま...あま
あま...あま

あま...あま
あま...あま
あま...あま

あま...あま
あま...あま
あま...あま



俺と詩羽先輩は



二人の文尾は
止まるはずもなく

お風呂に入っても



何度となく果て

もともとも
吸ってー！

ケモノのように
何度となく交わり

何度となく
膣内を満たし

その後も
獣のような文尾は
夜明け前まで続き



結局——

バ…バテた

お風呂えっちは
余計だったかも

のめサシ…

こうして俺と
詩羽先輩の
不倫旅行は

爛れきった
スタートを切り



詩羽先輩…

なに？

翌日モ—

寒くない？

ええ…
寒くはないわ

あなたの妄想の具現化…

これはなかなかすごいわね

この私が牝奴隷にされてしまうなんて♥

いや違うでしょ！それ改ざんでしょ！

ノーパンとは書いてあったけど？

服のあるなしで雲泥の差でしょ！

全裸も首輪も全っ然っなかったでしょっ！

あら？そうだった？

でも

これ…羞恥心や恐怖心や焦燥感や

ハマる人がいるのもわかる気がするわね♥

色々な感情が混ざりあってすごく昂ぶるわ

あああ…そこで新たな扉を開けなくてもいいですから！

ほら…もうマン汁もこんなに♥

見せなくていいです！

虎っ!?







どんだんあなた色のメスに調教されてしまうわね♥

しつませんよね!

最初にからカンストでしたよね?

詩羽先輩

まだ...中出しですか?



あー あなたの話にスキンの描写なんてなかったのだけど?



突っ込むのは股間のモノだけにしておきな...さい♥



だつて...孕ませるつもりで書いたんだから



ちよ、モノローグ読んじゃダメっ!

ムリムリムリムリ...



その通じ方...? っ! ♡

55646...

先輩

この旅行中に私を孕ませてみなさい ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡

あーっ ♡



こうして初めての
屋外プレイは
二人の予想すら超えた
アブノーマルな内容に
なってしまい



その興奮は



宿に戻ってから



なおくすぶり続け



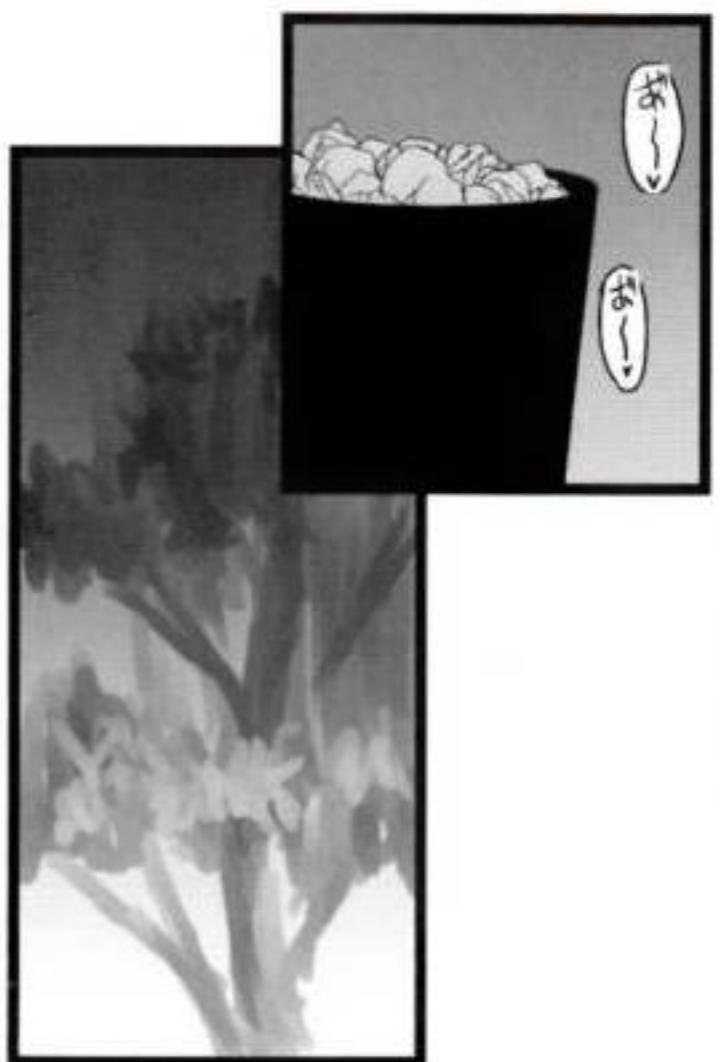
帰りましたか

はい



太陽が黄色いって…
本当だったんですね

…そうですね…





な...なっ...なっ

おぼろ

おぼろ



バカ...

おまんこ濡れちゃったじゃないかよあ...



こっ...これはあ

確かに報告しろ
とは言ったけど



やり過ぎなのよ!
あの根暗淫乱っつ!!

■ぽすとすくりぷと■

あるぴーぬでございます。

この本は、思い描いたものとは別の世界線に向かってしまったオリジナルにもよってしまった方向けの本になっております。けっこう爛れた関係ではありますが、おおむね詩羽先輩ルートに収束するような世界線を辿ってるのではないかと。

楽しんでいただければ幸いです。

次回作は未定です。今回とは真逆の芸風でなど詩羽先輩でもまだ描きたいものはありますが、Fateのモーさんが描きたくて仕方ないので果たしてどうなるのやら…。イベントは10月のコミに参加予定です。

それではでは。

20170813

■おくづけ■

ペーパーバック・ライター-Act.01

■ 2017.08.13 初版発行

■ 発行 DIEPPE FACTORY

■ 印刷 POWER PRINT

■ 18歳未満の入手及び

一切の購読を禁ず。

禁無断転載



DIEPPE
FACTORY
2017
SUMMER